

栃木県企業局の事業概要



企業局概要



栃木県企業局とは

栃木県が地方公営企業を経営するための組織です。

トチの葉はそれぞれ栃木県企業局の行う事業を表しています。

■ 電気事業 ■ 水道事業 ■ 工業用水道事業 ■ 用地造成事業 ■ 施設管理事業

地方公営企業とは

都道府県や市町村が経営する企業で、住民の福祉の増進を目的とすることは一般行政と同じですが、その事業に要する経費を、税金ではなく受益者が負担する点に大きな特色があります。

地方公営企業法では、地方公営企業として次の事業を定めています。

水道事業／工業用水道事業／軌道事業／自動車運送事業／鉄道事業／電気事業／ガス事業

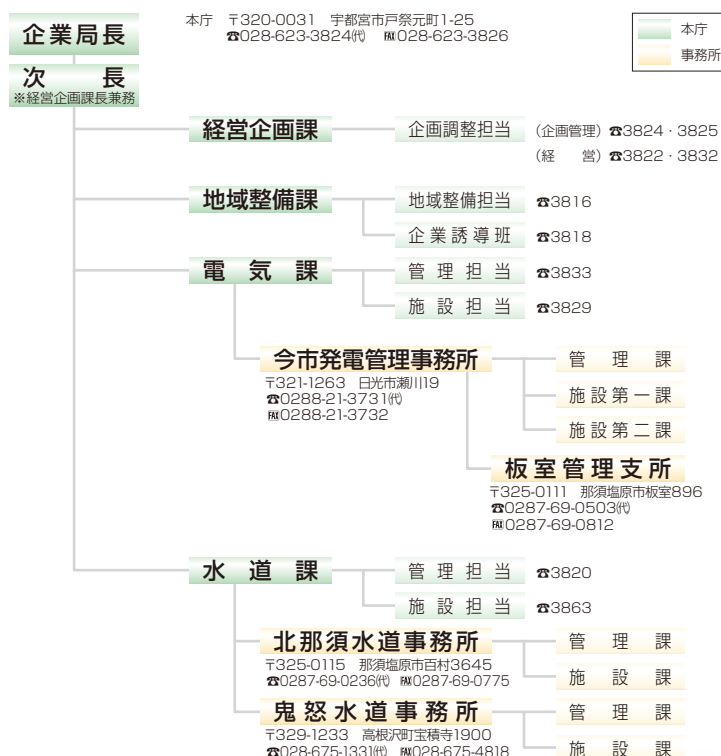
また、このほかの事業でも、条例で定めれば、地方公営企業として行うことができることになっています。

栃木県企業局が行っている事業

現在、企業局では、次の事業を行っています。

- **電気事業** 12か所の水力発電所で発電した電力を小売電気事業者等に供給しています。
- **水道事業** 県北・県央の4市1町1企業団に水道用水を供給しています。
- **工業用水道事業** 工業団地等に立地する企業に工業用水を供給しています。
- **用地造成事業** 産業団地等を造成し、工場用地等の分譲を行っています。
- **施設管理事業** とちまるゴルフクラブ(栃木県民ゴルフ場)と栃木県本町合同ビルの経営を行っています。

組織図



CONTENTS

企業局概要・組織図	1
企業局施設一覧	2
電気事業	3
水道事業・工業用水道事業	7
用地造成事業	11
施設管理事業	15
企業局のあゆみ	17
企業局経営戦略(2016~2025)	25
SDGsの達成に向けた取組	26

ホームページ

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/j01/kigyokyoku/index.html>



企業局施設一覧

(共有財産を含む)

電気事業	水道事業	工業用水道事業
発電所 ダム	水道用水供給エリア ダム	工業用水供給エリア
用地造成事業	施設管理事業	その他
産業団地	ゴルフ場 賃貸ビル	本庁 事務所

事務所(浄水場)一覧

- 1 今市発電管理事務所
- 2 板室管理支所
- 3 北那須水道事務所(浄水場)
- 4 鬼怒水道事務所(浄水場)

産業団地一覧(分譲済を除く)

- 1 鹿沼インター産業団地(整備中分譲済)
- 2 みぶ中泉産業団地(整備中)
- 3 あしがが久保田産業団地(整備中)

発電所一覧

- 1 川治第一発電所
- 2 川治第二発電所
- 3 風見発電所
- 4 板室発電所
- 5 深山発電所
- 6 足尾発電所
- 7 東荒川発電所
- 8 木の俣発電所
- 9 小網発電所
- 10 大下沢発電所
- 11 五十里発電所
- 12 小百川発電所

ダム一覧

- 1 五十里ダム
- 2 小網ダム
- 3 1 深山ダム
- 4 2 板室ダム
- 5 庚申ダム
- 6 東荒川ダム
- 7 佐貫頭首工
- 3 川治ダム
- 4 岡本頭首工



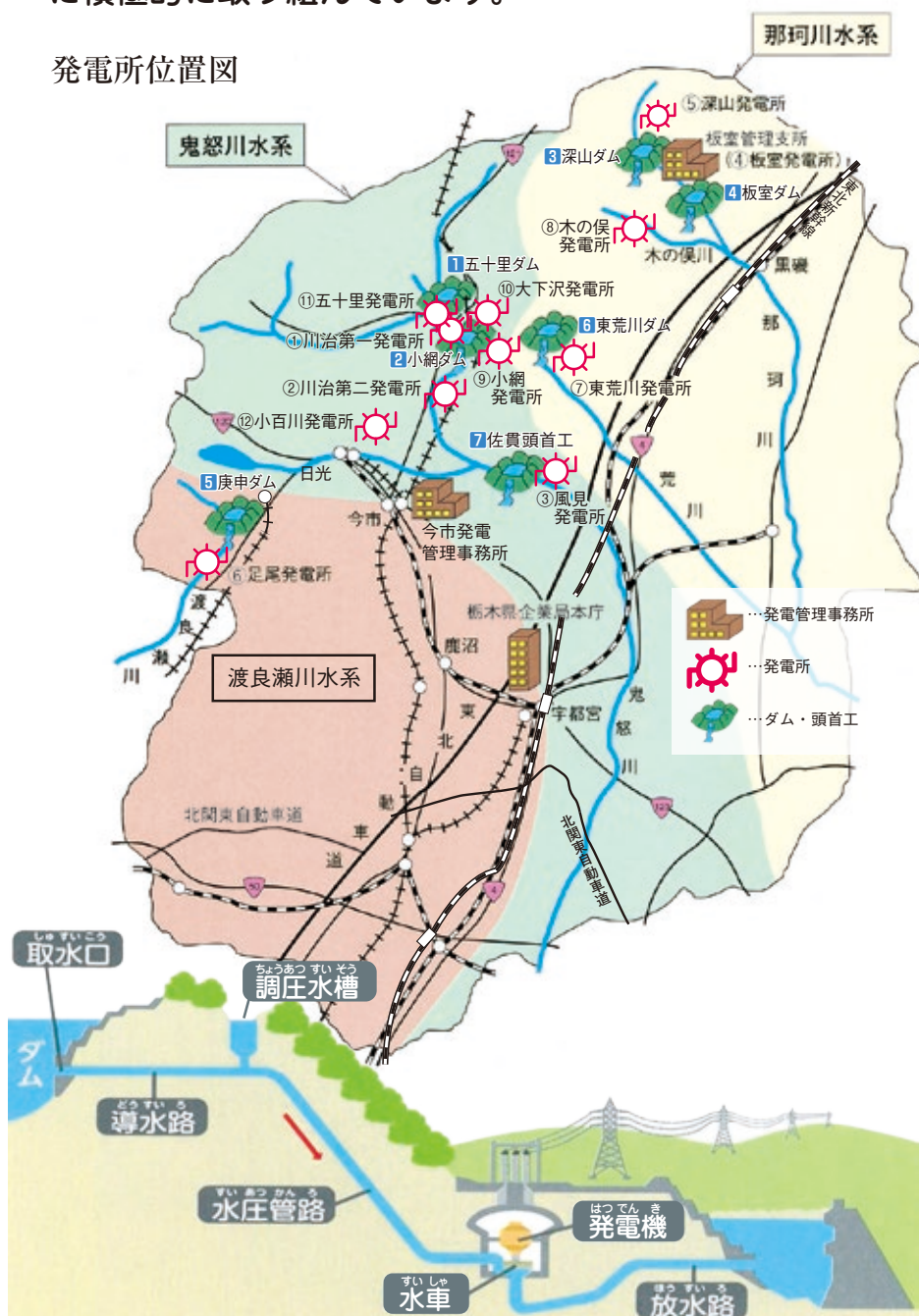
電気事業

純国産のクリーンエネルギー 水力発電

電気事業は、県営水力発電所で発電した電力を小売電気事業者等に供給し、地域エネルギーの安定供給（令和5（2023）年度供給量：148,588,641kWh約5万世帯分）と温室効果ガスの排出抑制（令和5（2023）年度CO₂排出抑制量：67,757トン）に貢献しています。併せて、ダム事業や灌漑事業への参画により、効率的な利水運用の役割も果たしています。

また、栃木県内の企業向けに県営水力発電所（再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT制度）適用発電所を除く）のCO₂フリー電気を供給する「とちぎふるさと電気」を東京電力エナジーパートナー㈱と創設し、電気の地産地消の推進と環境保全等の地域貢献に積極的に取り組んでいます。

発電所位置図



水力発電とは？

水が高いところから低いところへ落ちる力を利用し、発電機につながれた水車を回し発電します。



水力発電の特徴

- 水を利用して発電しているので燃料は不要。
- 発電するときにCO₂を出さないのでもってクリーン。
- 必要な電気の量に合わせて発電量を変更可能。

発電所一覧

No.	発電所名称	発電方式	出力(kW)	使用水量(m³/S)	運転開始日
1	川治第一発電所	ダム水路式	15,300	16.60	昭和31(1956)年 5月25日
2	川治第二発電所	ダム水路式	2,600	12.52	昭和33(1958)年 6月27日
3	風見発電所	水路式	10,200	42.00	昭和39(1964)年 4月 4日 ※リニューアルして令和6(2024)年3月16日運転再開
4	いた板むろ室発電所	ダム水路式	16,100	9.00	昭和48(1973)年 5月31日
5	み深山発電所	水路式	2,300	2.00	昭和59(1984)年 4月18日 ※改修工事中。令和7(2025)年11月から運転再開予定(FIT移行)
6	あし足尾発電所	ダム水路式	10,000	12.50	昭和60(1985)年10月18日
7	ひがしあらかわ川発電所	ダム式	600	1.60	平成 2 (1990)年 4月 1日
8	きの木俣発電所	水路式	3,600	2.20	平成 5 (1993)年 3月25日
9	こ小あみ網発電所	ダム式	130	1.31	平成19(2007)年12月 1日
10	おおげざわ下沢発電所	水路式	39	0.23	平成30(2018)年 1月19日
11	いかり五十里発電所	ダム式	1,200	2.00	令和 2 (2020)年 5月22日
12	こびやくかわ小百川発電所	水路式	190	0.26	令和 3 (2021)年 1月15日
合 計 出 力			62,259	※No.3、9～12はFIT制度適用発電所	

発電所カード

電気事業のPRと地域資源を活用したクリーンなエネルギーである水力発電の啓発及びインフラ施設を活用した地域振興を目的に、「発電所カード」を作成し、発電所近くのダム管理所等で配布しています。



「とちぎふるさと電気」を供給している発電所は緑色、とちまるくんデザイン

※No.1、2、4、6～8



「再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT 制度）」を適用している発電所は水色のデザイン

※No.3、9～12
令和7(2025)年11月～No.5追加予定

ダム一覧

No.	ダム名称	形式	高さ(m)	長さ(m)	集水面積(km²)	総貯水量(千m³)	管理者
1	いかり五十里ダム	重力式コンクリート	112.0	267.0	271.2	55,000	国土交通省
2	こ小あみ網ダム	重力式コンクリート	23.5	128.0	606.05	627	企業局
3	み深山ダム	遮水壁型ロックフィル	75.5	333.8	52.9	25,800	農政部
4	いた板むろ室ダム	重力式コンクリート	16.8	76.0	85.0	260	//
5	こう庚申ダム	重力式コンクリート	29.0	55.85	149.2	195	企業局
6	ひがしあらかわ川東荒川ダム	重力式コンクリート	70.0	276.0	21.0	6,100	県土整備部
7	ささめきとうしゅこう佐貫頭首工	可動堰※	—	123.0(固定部)	—	—	企業局

※河川法上の分類は堰（高さ15m未満）

ダムカード

ダムをよりよく知っていただくため、小網ダム、庚申ダム及び佐貫頭首工の「ダムカード」を作成し、ダム管理所で配布しています。



今市発電管理事務所

効率的に施設を管理するため、県営発電所を一括して監視制御するとともに、日光市・塩谷町内の発電所の保守管理を行っています。



▲監視制御室



▲今市発電管理事務所

鬼怒川流域の施設



▲川治第一発電所と五十里ダム
昭和31(1956)年に運転を開始した最初の県営発電所です。
五十里ダムから取水して発電しています。



▲川治第二発電所と小網ダム
川治第一発電所で使用した水を小網ダムに貯めて発電しています。



▲風見発電所と佐貫頭首工
県営発電所の中で最も使用水量が多い発電所です。佐貫頭首工から取水し、農業用水路の落差を利用し、発電しています。
リニューアル工事を経て、令和6(2024)年3月に運転を再開しました。



風見発電所バーチャル見学

▲大下沢発電所
平成30(2018)年1月に運転を開始した、出力が一番小さな発電所です。



▲五十里発電所と水車・発電機
五十里ダムからの河川維持流量を利用し、令和2(2020)年5月に運転を開始した発電所です。



▲小百川発電所と水車・発電機
小百川発電所は、令和3(2021)年1月に運転を開始した発電所です。既設の砂防堰堤(副堰堤)から取水し、約2km下流の発電所との落差を利用して発電しています。

渡良瀬川流域の施設



▲足尾発電所



▲庚申ダム

◀足尾発電所と庚申ダム

渡良瀬川上流に位置する日光市足尾町は、日本有数の銅山の街として栄えてきましたが、昭和48(1973)年に閉山したため、旧足尾町振興策の一環として、足尾発電所を建設しました。

足尾発電所は、渡良瀬川、神子内川、庚申川などから取水し、発電しています。

那珂川流域の施設



▲板室発電所（板室管理支所）

県営発電所の中で、出力が一番大きな発電所です。東荒川発電所を除く那珂川流域の発電所の保守管理は、ここで行っています。



▲深山発電所と水車・発電機
那珂川流域の最上流にある発電所です。なお、令和6(2024)年3月から発電所を停止してリニューアル工事を行っており、令和7(2025)年11月から運転再開予定です。



▲東荒川発電所と水車・発電機
東荒川ダムからの河川維持流量や水道用水等を利用し、発電しています。

◀深山ダム

板室発電所で使用する水は深山ダムから取水しています。



▶板室ダム

板室発電所で使用した水は、このダムに一時貯められ、北那須水道用水、農業用水の取水口として機能しています。



▲木の俣発電所と水車・発電機

木の俣川、ヒツ沢川及び西俣沢川から取水し、発電しています。



◀東荒川ダム

洪水調節、農業、水道、発電用の多目的ダムです。



水道事業・工業用水道事業

県営水道は、水源の広域的な有効利用や財政投資の効率性を考慮し、合理的な運営及び水の安定供給のため計画された公益性の高い事業です。

県が市町村等に対して「水の卸し」を行うことから水道用水供給事業と呼ばれています。

また、鬼怒川左岸台地地区の清原、芳賀等の工業団地に立地する企業を対象に工業用水を安定供給し、地域産業の発展を支えています。

北那須水道用水供給事業

北那須水道用水供給事業は、県北地域における地域振興の促進と生活基盤の確立のため、大田原市、那須塩原市の2市へ、合わせて計画一日最大給水量48,000m³の水道用水を供給しています。



深山ダム

農業用水、発電用水及び水道用水に使われる水を溜めておくところです。



板室ダム

深山ダムから流れてきた水はここで取り入れられ、上段幹線導水路へと導かれます。



取水口

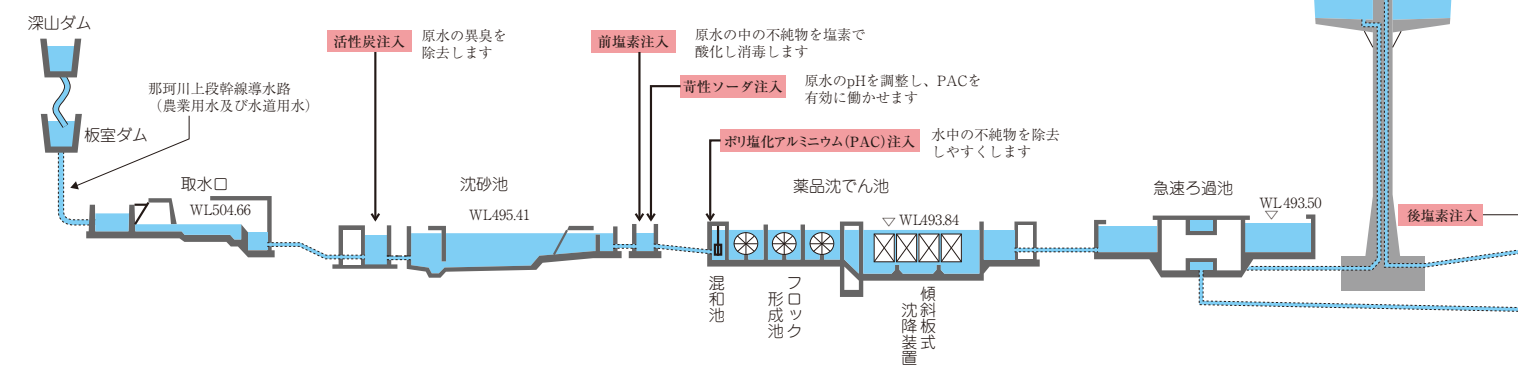
板室ダムから上段幹線導水路を流れてきた水はここで農業用水と水道用水に分けられ、水道用水は沈砂池に導かれます。



沈砂池

取水口から取り入れられた水の中には砂や泥が混じっているため、ここで砂や泥を沈めます。

水道用水ができるまで



高架水槽・塩素混和池

高架水槽は、急速ろ過池のろ過砂の洗浄に使われる水を、蓄えておく水槽です。

塩素混和池では、きれいになった水に塩素を加えて消毒し、安全な飲み水にします。



浄水池・調整池

飲み水を一時、地下の水槽に蓄え、水量を調整します。

また、地球温暖化対策の一環として、浄水池上に太陽光発電設備を設置しています。



排水処理池

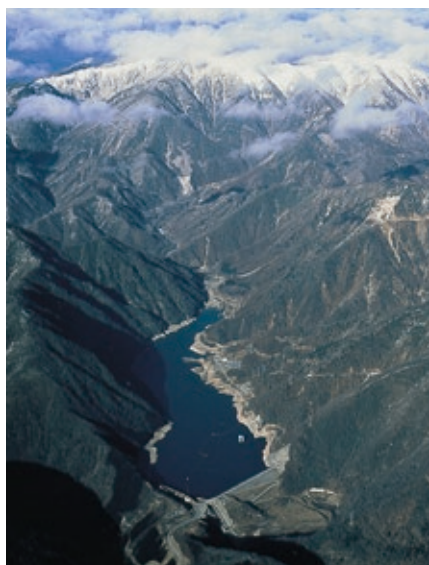
薬品沈でん池や急速ろ過池で取り除いた泥水をここで貯留・濃縮します。



天日乾燥床

排水処理池で濃縮された浄水発生土はここに送られ、天日乾燥により水分を蒸発させます。

北那須水道用水供給事業の概要図



深山ダム(水源)



薬品沈でん池

水に混じっている泥などを取り除くために、薬品を入れてゆっくりかき混ぜ、大きな固まりにして、ここで沈めます。



急速ろ過池

砂の層を通して水をきれいにします。

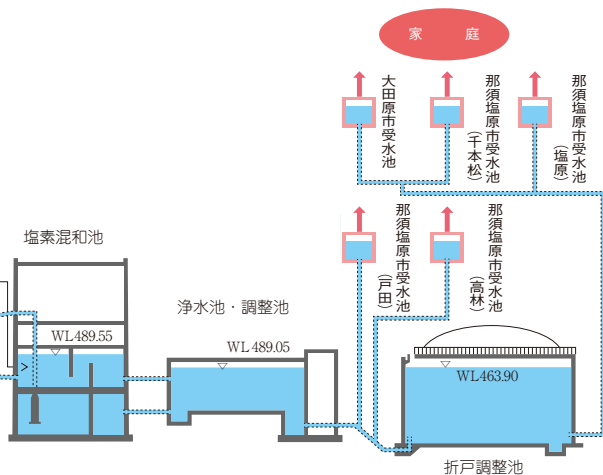


◆北那須浄水場カード

水道用水供給事業について広く知ってもらうことを目的に浄水場カードを作成し、企業局や受水市窓口で配布しています。



※デザインは令和6(2024)年度作成のものです



北那須水道用水供給事業	
給水対象区域	大田原市・那須塩原市(旧黒磯市・旧西那須野町・旧塩原町)
取水量及び	計画一日最大取水量 51,840 ^m
給水量	計画一日最大給水量 48,000 ^m
給水能力	48,000 ^m ／日
給水開始年次	昭和53(1978)年 4月 大田原市
	昭和54(1979)年10月 那須塩原市(塩原地区)
	昭和55(1980)年 4月 那須塩原市(黒磯地区戸田系) 那須塩原市(西那須野地区)
	昭和56(1981)年 8月 那須塩原市(黒磯地区高林系)
総事業費	90億円
県水受水率	大田原市・那須塩原市の使用量の47%を供給(令和5(2023)年度) (大田原市63%、那須塩原市39%)



折戸調整池

大田原市、那須塩原市へ送る水を一時蓄え、水量を調整します。



マイクロ水力発電機

調整池への流入水を利用し、マイクロ水力発電機による発電を行っています。

鬼怒水道用水供給事業・鬼怒工業用水道事業

鬼怒水道用水供給事業は、「県央地域広域的水道整備計画」に基づき、県央の宇都宮市、真岡市、高根沢町、芳賀中部上水道企業団の2市1町1企業団を対象に、合わせて計画一日最大給水量38,000 m^3 の水道用水を供給しています。

また、鬼怒工業用水道事業は、宇都宮テクノポリス開発計画で進めた清原、芳賀、芳賀・高根沢工業団地等を対象に、計画一日最大給水量147,100 m^3 の工業用水を供給するもので、平成7（1995）年4月には計画施設能力73,550 m^3 /日を完成し、各工業団地の企業に供給しています。



岡本頭首工

ダムから流れてきた水は、川を堰止めて取り入れられます。この水は、飲み水だけでなく工場や農家でも使われます。



分水井

取水ポンプで送られてきた水はここで水道用水と工業用水に分けられます。



薬品沈でん池

水に混じっている泥などを取り除くために、薬品を入れてゆっくりかき混ぜ、大きな固まりにして、ここで沈めます。



急速ろ過池

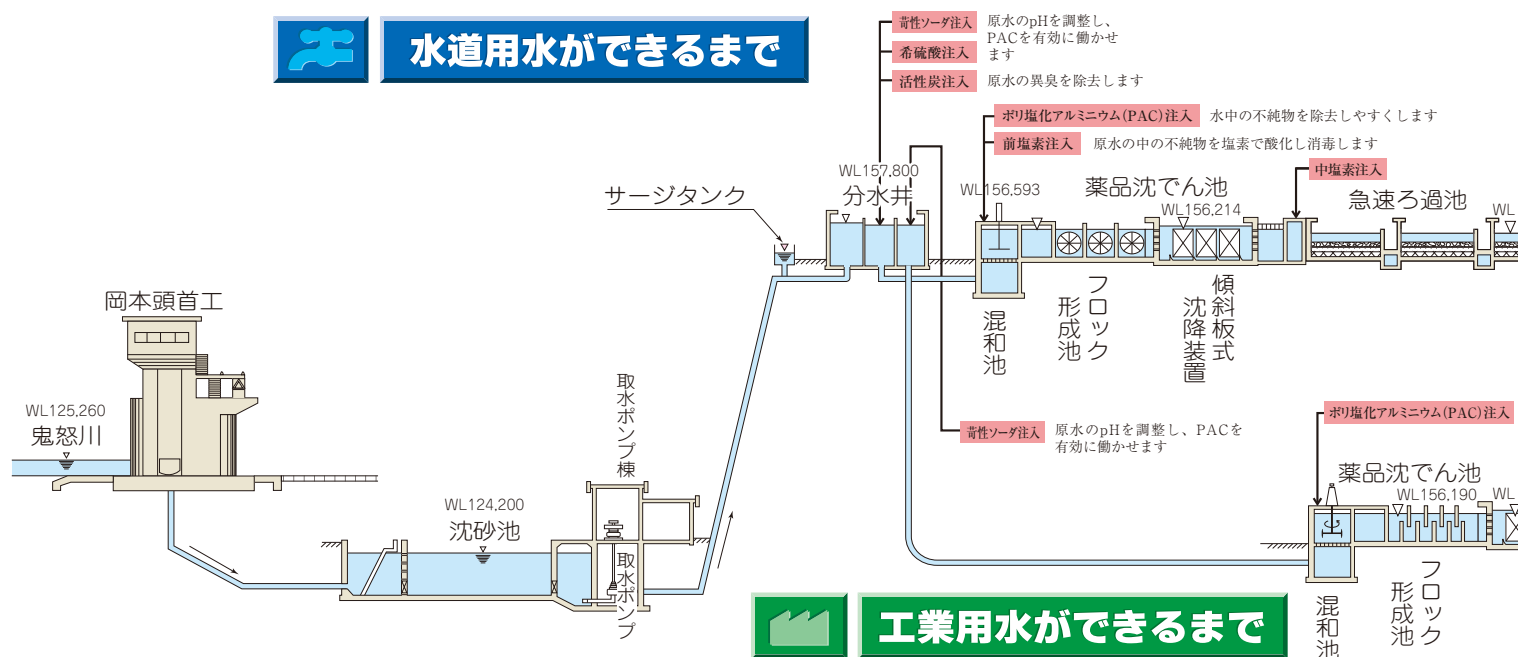
砂の層を通して水をきれいにします。



浄水池・調整池

ろ過後、きれいになった水は塩素消毒され、ここで一時蓄え、水量を調整します。

水道用水ができるまで



工業用水ができるまで



沈砂池・

取水ポンプ棟

岡本頭首工から取り入れられた水の中には泥や砂が混じっているため、ここで泥や砂を沈めます。



取水ポンプ

ポンプの力で水を浄水場に送ります。



薬品沈でん池

工業用水に適した水にするため、水に混じっている泥などを薬品を使って沈めます。



配水池

きれいになった水は、工場の使用量の変化に対応出来るよう、ここで一時蓄えます。



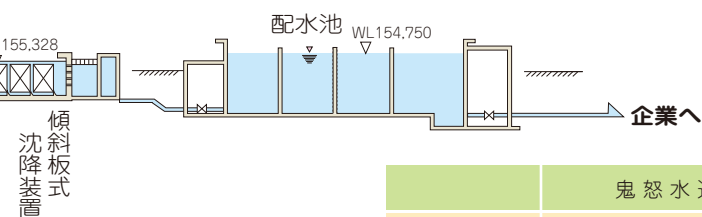
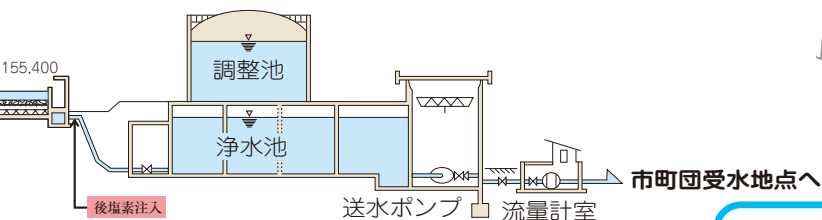
排水処理池

薬品沈でん池や急速ろ過池で取り除いた泥水をここで貯留・濃縮します。

鬼怒水道用水供給事業・鬼怒工業用水道事業の概要図

川治ダム(水源)

 薬品注入棟



 天日乾燥床



◆鬼怒浄水場カード[®]



	鬼 怒 水 道 用 水 供 給 事 業	鬼 怒 工 業 用 水 道 事 業
給水対象区域	宇都宮市・真岡市・高根沢町・ 芳賀中部上水道企業団（益子町・芳賀町）	宇都宮市（清原工業団地、その他） 芳賀町（芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地の一部、その他） 高根沢町（芳賀・高根沢工業団地の一部、その他） 宇都宮市（宇都宮工業団地） 真岡市（真岡第1工業団地、その他） 上三川町（自動車工場） ※灰色は計画
取水量及び 給水量	計画一日最大取水量 40,600m ³ 計画一日最大給水量 38,000m ³	計画一日最大取水量 158,100m ³ 計画一日最大給水量 147,100m ³
給水能力	38,000m ³ /日	73,550m ³ /日
給水開始年次	昭和62(1987)年10月 宇都宮市 平成元(1989)年 4月 益子町・芳賀町 平成 2(1990)年 4月 真岡市 平成 9(1997)年 4月 高根沢町	昭和57(1982)年10月 清原工業団地等 平成元(1989)年 5月 芳賀工業団地 平成 2(1990)年 4月 芳賀・高根沢工業団地
事業費	135億円	340億円
県水受水率	宇都宮市等使用量の15%を供給(令和5(2023)年度) (宇都宮市13%、真岡市24% 芳賀中部上水道企業団18%、高根沢町13%)	



用地造成事業

県内各地域の特性を生かし、県土の均衡と調和のとれた発展を図るため、市町の協力のもとに産業団地等の整備を推進し、成長力に富んだ企業の誘致を進めています。

企業が立地することにより、新たな雇用が生まれるなど、地域の活性化が図られます。

番号	団 地 等 名	所 在 地		種 類		状 況			面 積 (ha)				分譲期間		立 地 企業数	
		市町	町名等	産業 団地	その 他	分譲済	分 譲 中	整 備 中	総 面 積 (造成面積)	工場用地面積		分譲 開始	分譲 終了	(件)		
						その 他					分譲済				未分譲	
1	宇都宮ゆいの杜	宇都宮市	ゆいの杜		産業 用地	○				1.1	1.1	1.1	0.0	R2.10	R4.12	1
2	八坂第二	足利市	羽刈町	○		○				23.3	16.5	16.5	0.0	H2.8	H4.2	7
3	毛野東部	足利市	川崎町、ほか	○		○				14.4	11.5	11.5	0.0	H4.3	H4.3	11
4	西久保田	足利市	久保田町	○		○				13.0	10.4	10.4	0.0	H16.2	H19.3	4
5	あがた駅南	足利市	県町	○		○				18.4	12.4	12.4	0.0	H28.12	H31.4	7
6	あしかが久保田	足利市	久保田町	○					○	22.3	16.8	0.0	16.8	未定		0
7	惣社東	栃木市・ 壬生町	栃木市惣社町 壬生町壬生乙	○		○				21.8	14.3	14.3	0.0	H11.4	H25.9	13
8	羽田	佐野市	下羽田町	○		○				26.1	20.0	20.0	0.0	H6.7	H12.3	10
9	下石川	鹿沼市	下石川		流通 団地	○				12.4	5.1	5.1	0.0	H9.11	H13.4	5
10	鹿沼インター	鹿沼市	深津	○			予約 分譲済		○	23.9	17.8	17.8	0.0	R4.10		4
11	小山東部	小山市	梁	○		○				25.9	16.5	16.5	0.0	H7.6	H19.3	12
12	真岡第5	真岡市	亀山・長田	造成 のみ		○				41.2	39.8	-	-	-	-	-
13	大和田	真岡市	大和田	○		○				32.9	21.1	21.1	0.0	H15.6	R4.12	9
14	矢板南	矢板市	こぶし台	○			定期借 地含む			77.2	47.8	43.4	4.4	H6.7		19
15	東那須	那須塩原市	塩野崎、ほか	○		○				48.3	37.9	37.9	0.0	H7.6	H20.7	2
16	赤羽西部	市貝町	赤羽	○		○				8.7	6.5	6.5	0.0	H1.8	H1.8	1
17	芳賀・高根沢	芳賀町・ 高根沢町	芳賀町下高根沢 高根沢町上高根沢	○		○				226.4	212.2	212.2	0.0	S52.3	S55.3	3
18	芳賀第2	芳賀町	下高根沢	○		○				22.7	17.7	17.7	0.0	R3.1	R5.2	5
19	みぶ羽生田	壬生町	羽生田、ほか	○		○				86.5	71.0	71.0	0.0	H24.12	H29.11	3
20	みぶ中泉	壬生町	中泉	○					○	19.5	15.4	0.0	15.4	未定		0
21	砂部	高根沢町	平田	○		○				25.8	21.5	21.5	0.0	H1.4	H2.3	12
計	産業団地	19 箇所		○						778.3	627.1	550.7	36.6			122
	その他	2 箇所			○					13.5	6.2	6.2	0.0			6
	21 箇所			○	○					791.8	633.3	556.9	36.6			128

※ 四捨五入の関係で、計は合わない部分があります。

整備中の産業団地

みぶ中泉産業団地

整備中

北関東自動車道壬生ICから約5分の好立地
住み心地良い環境も魅力

令和7(2025)年度中の「区画パターン選択方式」による
予約分譲案内開始を予定



位置図



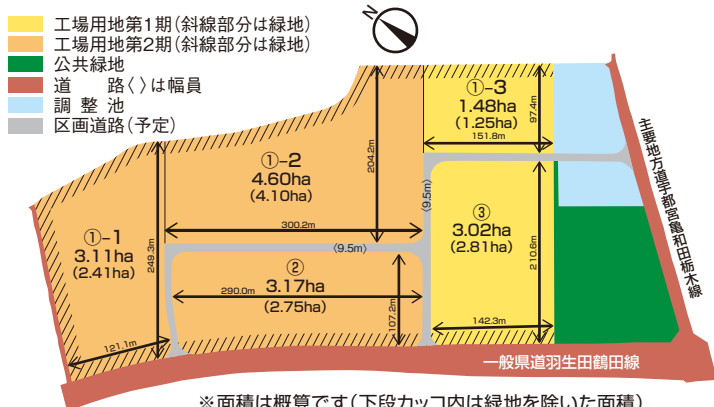
アクセス

みぶ中泉産業団地	約4km 約5分	北関東自動車道・壬生IC
	約4km 約5分	主要地方道宇都宮栃木線 (栃木街道)
	約7km 約12分	東北自動車道・鹿沼IC
	約12km 約22分	新4号国道
	約14km 約30分	JR宇都宮駅

概要

所在地	壬生町中泉
団地面積	約19.5ha
分譲面積	約15.4ha
用途地域	工業専用地域
建築基準	建ぺい率：60%、容積率：200%
用水	壬生町上水道供給（予定）
排水	各企業が個別処理後、排水管へ放流
通信	光回線サービス提供エリア内

区画図



※面積は概算です(下段カッコ内は緑地を除いた面積)

あしかが久保田産業団地

整備中

東京から80km圏

東北自動車道、北関東自動車道へ好アクセス



概要

所在地	足利市久保田町
団地面積	約 22.3ha
分譲面積	約 16.8ha
用途地域	市街化調整区域（地区計画予定）
建築基準	建ぺい率：60%、容積率：200%
用水	足利市上水道供給（予定）

区画図



鹿沼インター産業団地

整備中
(分譲済)

既存工業団地に隣接

東北自動車道鹿沼ICから約3分と抜群のアクセス



概要

所在地	鹿沼市深津
団地面積	約 23.9ha
分譲面積	約 17.8ha
用途地域	工業専用地域
建築基準	建ぺい率：60%、容積率：200%
地質	ローム層、砂礫層
用水	鹿沼市上水道、地下水要相談
排水	各企業が個別処理後、排水管へ放流
通信	光回線サービス提供エリア内



施設管理事業

県民福祉の増進と地域振興を
目的とした施設の整備・管理
運営を実施しています。

とちまるゴルフクラブ（栃木県民ゴルフ場）

栃木県民ゴルフ場は、県民の多様化するスポーツ・レクリエーション需要に応えるため、さくら市及び高根沢町の鬼怒川河川敷に整備した、河川空間のなだらかな地形を生かした美しいレイアウトの本格的なパブリックコースです。

平成4（1992）年10月の営業開始以来、気軽に利用できるゴルフ場として、シンプル＆リーズナブルをコンセプトに、ジュニアからシニアまで幅広い客層の方々へ楽しむ機会を提供しています。



コースレイアウト

18ホール 6,609ヤード パー72
敷地面積71.5ha

とちまるゴルフクラブ
QRコード



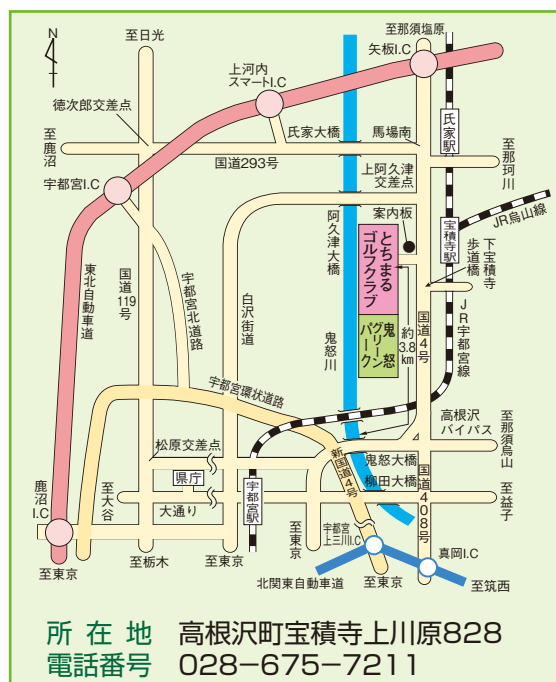
地域貢献活動の一環として、関係
団体と連携しながら、ジュニアゴル
フ教室などを実施しています。



▲コースへ乗り入れができるナビ付きカートで
快適プレイ！（天候等による制限あり）



▲ジュニアゴルフ教室



所在地 高根沢町宝積寺上川原828
電話番号 028-675-7211

栃木県本町合同ビル



▲地球温暖化対策の一環として設置した太陽光発電設備
(太陽光発電設備：n型単結晶電池)
出力34.71kW)



▲1階は栃木県観光物産協会が区分所有しており、
とちぎの特産品の販売や観光情報を発信しています。

栃木県本町合同ビルは、土地の高度利用による宇都宮市の中心市街地の活性化などを目的として平成12(2000)年度に着工し、平成14(2002)年3月に竣工した賃貸ビルです。

また、ビルにあわせ、駐車場を2か所(本町合同ビル駐車場、栃の実駐車場)整備し、中心市街地の利便性向上に貢献しています。

建築概要

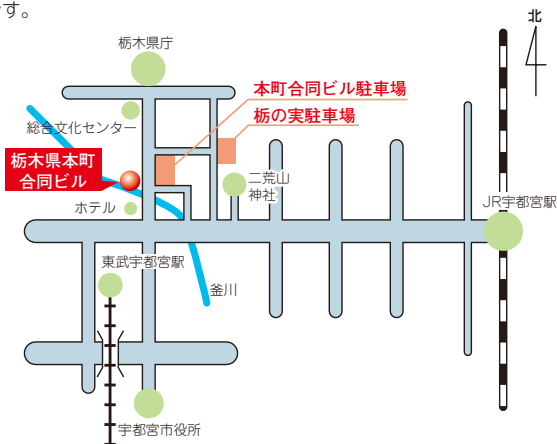
建物名称	栃木県本町合同ビル
建築主	栃木県企業局
所在地	宇都宮市本町3番9号
敷地面積	1,703.76㎡
延床面積	8,571.45㎡ (うち賃貸面積 2,761.32㎡)
建築面積	988.55㎡
構造	地下：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上：鉄骨造
階数	地下1階地上9階PH付
駐車場	構内13台 近接68台

入居団体

9F	
8F	栃木県国民健康保険団体連合会 (区分所有)
7F	
6F	
5F	
4F	栃木県教育委員会 事務局 (賃貸)
3F	
2F	栃木県後期高齢者医療広域連合 (賃貸)
1F	公益社団法人栃木県観光物産協会 (区分所有)

所在地案内

栃木県庁と栃木県総合文化センターのすぐ南側で、トチノキ並木のシンボルロードと釜川の交差点部に位置します。
JR宇都宮駅からバスで約10分、東武宇都宮駅から徒歩10分です。



企業局のあゆみ

昭和28～45年
(1953～1970)

昭和28(1953)年

10月 川治発電所建設事務所設置

昭和29(1954)年

5月 川治第一発電所着工

昭和31(1956)年

1月 電気局設置準備室設置（土木部内）

4月 五十里ダム湛水開始

5月 川治第一発電所営業運転開始

6月 電気事業に地方公営企業法適用
電気局設置、本庁を2課制（総務課・工務課）とする

12月 川治第二発電所着工

昭和33(1958)年

6月 川治第二発電所営業運転開始

11月 電気事業管理者設置
本庁を3課制（総務課・土木課・電気課）とする
湯西川発電所建設事務所設置



▲川治第一発電所建設工事全景

昭和34(1959)年

10月 湯西川発電所着工

昭和35(1960)年

12月 湯西川発電所営業運転開始
風見発電所建設事務所設置

昭和36(1961)年

12月 風見発電所着工

昭和39(1964)年

4月 風見発電所営業運転開始

昭和42(1967)年

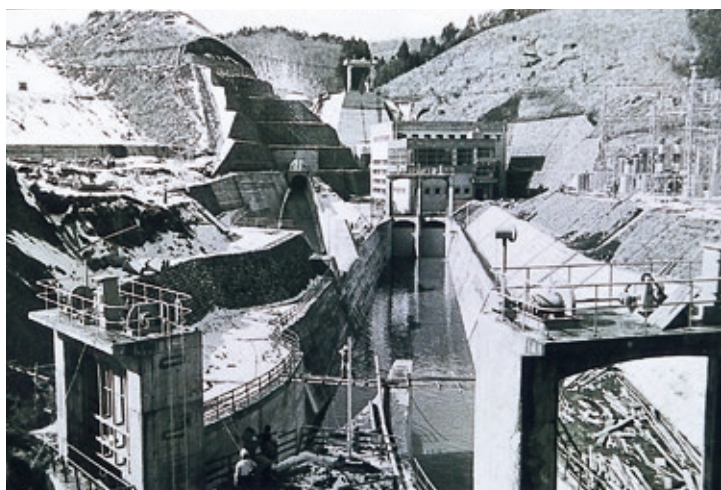
4月 電気事業管理者廃止

昭和43(1968)年

3月 那須新都市水道事業認可
那須新都市水道事業を一般会計から移管
水道事業に地方公営企業法適用

昭和45(1970)年

4月 板室発電所建設事務所設置



▲下流から見た風見発電所工事全景

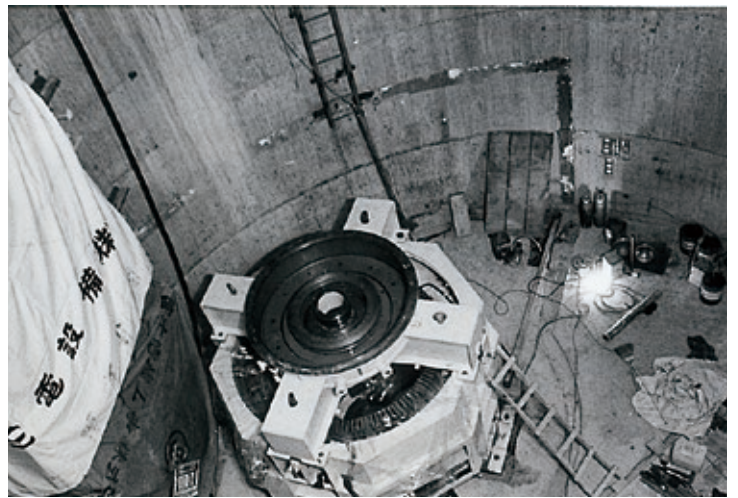
昭和46～55年 (1971～1980)

昭和46(1971)年

- 3月 板室発電所着工
鬼怒左岸台地地区水道事業認可

昭和47(1972)年

- 3月 鬼怒左岸台地地区水道事業を一般会計から移管
電気局から企業局に組織改正
- 4月 本庁を2部（業務部・事業部）5課制（総務課・開発課・建設課・土木課・電気課）とする
用地造成事業に地方公営企業法適用
- 8月 川治発電所管理事務所設置
（川治地区集中制御化による）



▲発電機仮組立（板室発電所）

- 4月 事業部の土木課を廃止し、電源開発課、水道課を設置
深山ダム管理事務所設置

昭和48(1973)年

- 3月 鬼怒左岸台地地区工業用水道事業を一般会計から移管
- 4月 工業用水道事業に地方公営企業法適用
- 5月 板室発電所営業運転開始

昭和49(1974)年

- 3月 那須新都市水道事業廃止報告
北那須水道用水供給事業認可



▲薬品沈でん池築造工事（昭和51(1976)年・北那須水道事務所）

昭和50(1975)年

- 4月 北那須水道建設事務所設置
- 6月 芳賀・高根沢工業団地着工

昭和51(1976)年

- 4月 公営企業管理者設置
本庁の2部制を廃止、次長制とし4課1室制（総務課・企画開発室・工務課・電気課・水道課）とする

昭和53(1978)年

- 4月 北那須水道管理事務所設置
北那須水道用水供給事業営業開始
- 6月 鬼怒川左岸台地地区工業用水道事業届出

昭和54(1979)年

- 4月 鬼怒左岸水道建設事務所設置

昭和55(1980)年

- 3月 芳賀・高根沢工業団地分譲

昭和56～平成2年 (1981～1990)

昭和56(1981)年

- 4月 用地造成事業の知事部局移管に伴い業務課を廃止し、3課1室制（総務課・企画開発室・電気課・水道課）とする

昭和57(1982)年

- 4月 足尾発電建設事務所・深山発電建設事務所設置
北那須水道管理事務所を北那須水道事務所に、鬼怒左岸水道建設事務所を鬼怒水道事務所に改称
- 9月 足尾発電所着工
- 10月 公営企業管理者廃止
鬼怒工業用水道事業営業開始
深山発電所着工

昭和59(1984)年

- 3月 鬼怒左岸台地地区水道事業廃止報告
鬼怒水道用水供給事業認可
- 4月 深山発電所営業運転開始
- 10月 東荒川発電建設所設置（企画開発室内）

昭和60(1985)年

- 10月 足尾発電所営業運転開始

昭和61(1986)年

- 3月 東荒川発電所着工
- 4月 用地造成事業に地方公営企業法適用（再開）



▲発電機ロータ吊込式
(昭和60(1985)年8月5日・足尾発電所)

昭和62(1987)年

- 10月 鬼怒水道用水供給事業営業開始
- 12月 砂部工業団地着工

昭和63(1988)年

- 8月 赤羽西部工業団地着工

平成元(1989)年

- 3月 砂部工業団地竣工
- 4月 木の俣発電所建設事務所設置
地域振興事業に地方公営企業法適用
- 6月 赤羽西部工業団地竣工
- 7月 木の俣発電所着工
- 10月 八坂第二工業団地着工

平成2(1990)年

- 4月 企画開発室を廃止し、5課制（総務課・計画課・開発課・電気課・水道課）とする
東荒川発電所営業運転開始
- 7月 毛野東部工業団地着工



▲薬品沈でん池築造工事（昭和60(1985)年・鬼怒水道事務所）

平成3～12年 (1991～2000)

平成3(1991)年

- 1月 栃木県民ゴルフ場着工
- 3月 八坂第二工業団地竣工
- 8月 毛野東部工業団地竣工
- 12月 小山東部工業団地着工
今市発電管理事務所着工

平成4(1992)年

- 10月 栃木県民ゴルフ場オープン
- 12月 東那須工業団地着工

平成5(1993)年

- 2月 矢板南工業団地着工
- 3月 木の俣発電所営業運転開始
- 4月 今市発電管理事務所設置（9発電所の集中監視制御開始）

平成6(1994)年

- 4月 川治発電管理事務所・風見発電所を今市発電管理事務所に統合
地域振興整備事業に地方公営企業法適用（用地造成事業、地域振興事業を統合）
公営企業管理者（企業庁長）設置
企業庁に組織を改め、本庁に管理部（総合調整担当・総務課・経営企画課）と事業部（開発課・電気課・水道課）を置く
羽田工業団地着工
- 12月 下石川流通団地着工

平成7(1995)年

- 4月 深山ダム管理事務所の廃止（深山ダム・板室ダム管理の農務部移管に伴う）



▲建設中の栃木県本町合同ビル



▲栃木県民ゴルフ場造成

平成8(1996)年

- 5月 栃木県企業庁長期ビジョン策定

平成9(1997)年

- 6月 惣社東工業団地着工
- 11月 東那須工業団地竣工
- 12月 下石川流通団地竣工

平成10(1998)年

- 2月 小山東部工業団地竣工

平成11(1999)年

- 4月 経営企画課を幹事課とし、総務課を管理課に名称変更

平成12(2000)年

- 3月 矢板南工業団地竣工
- 4月 羽田工業団地竣工
- 9月 栃木県本町合同ビル着工

平成13～22年 (2001～2010)

平成13(2001)年

5月 栃木県企業庁長期ビジョンⅡ策定

平成14(2002)年

3月 栃木県本町合同ビル完成
4月 公営企業管理者（企業庁長）廃止
企業局に組織を改め、本庁の部制を廃止し4課制（経営企画課・地域整備課・電気課・水道課）とする

平成15(2003)年

2月 大和田産業団地着工
4月 栃木県本町合同ビル供用開始
12月 西久保田工業団地着工

平成17(2005)年

2月 惣社東産業団地竣工
4月 板室発電管理事務所を廃止し、今市発電管理事務所の支所とする



▲平成15(2003)年 大和田産業団地造成

平成18(2006)年

3月 西久保田工業団地竣工
栃木県企業局中期経営計画策定
9月 小網発電所着工
10月 湯西川発電所廃止

平成19(2007)年

12月 小網発電所営業運転開始

平成21(2009)年

4月 栃木県民ゴルフ場に指定管理者制度導入

平成22(2010)年

12月 みぶ羽生田産業団地着工



▲平成18(2006)年 小網発電所建設工事

平成23～28年 (2011～2016)

平成23(2011)年

- 3月 栃木県企業局経営計画（2011～2015年度）策定
- 10月 みぶ羽生田産業団地の愛称を「産業未来基地とちぎ中央」に決定

平成24(2012)年

- 10月 栃木県民ゴルフ場開場20周年
- 12月 みぶ羽生田産業団地の第1期分譲開始

平成25(2013)年

- 3月 みぶ羽生田産業団地分譲開始記念式典



▲栃木県民ゴルフ場開場20周年記念式典



▲平成27(2015)年～ 五十里発電所建設工事



▲平成28(2016)年～令和元(2019)年 あがた駅南産業団地造成

平成26(2014)年

- 3月 北那須水道事務所の太陽光発電開始
- 6月 みぶ羽生田産業団地の第2期分譲開始
- 9月 みぶ羽生田産業団地の分譲済の区画を除いた全区画（未造成含む）の売買に係る基本合意書の取り交わし
- 11月 あがた駅南産業団地の基礎調査に着手

平成27(2015)年

- 7月 あがた駅南産業団地の事業実施決定
大下沢発電所着工
- 10月 五十里発電所着工

平成28(2016)年

- 3月 栃木県民ゴルフ場新愛称を「とちまるゴルフクラブ」に決定
栃木県企業局経営戦略(2016～2025年度)策定
- 9月 あがた駅南産業団地着工
- 10月 小百川発電所着工
企業局発足60周年記念植樹式

平成29～令和2年 (2017～2020)

平成29(2017)年

- 1月 あがた駅南産業団地の第1期予約分譲開始
- 10月 あがた駅南産業団地の第2期予約分譲開始
- 11月 みぶ羽生田産業団地の竣工及び分譲完了
- 12月 芳賀第2工業団地の基礎調査に着手

平成30(2018)年

- 1月 大下沢発電所営業運転開始
- 4月 とちぎふるさと電気販売開始
- 7月 あがた駅南産業団地の第3期予約分譲開始
- 9月 風見発電所全面改修事業着工
- 10月 芳賀第2工業団地の事業実施決定

平成31(令和元)(2019)年

- 4月 あがた駅南産業団地分譲完了
- 9月 鹿沼インター産業団地の基礎調査に着手
あがた駅南産業団地竣工



▲ファナックとの最終分譲(第6期)契約締結式の様子
(左から福田知事、ファナック(株)稲葉会長)



▲令和2(2020)年～ 風見発電所全面改修事業現地工事開始



▲令和2(2020)年～令和4(2022)年 芳賀第2工業団地造成

令和2(2020)年

- 5月 五十里発電所営業運転開始
- 10月 宇都宮ゆいの杜産業用地の分譲開始
風見発電所運転停止
(全面改修事業現地工事開始)
- 11月 芳賀第2工業団地着工
- 12月 鹿沼インター産業団地の事業実施決定

令和3～6年 (2021～2024)

令和3(2021)年

- 1月 小百川発電所営業運転開始
芳賀第2工業団地の第1期予約分譲開始
- 3月 栃木県企業局経営戦略
(2016～2025)改定
- 8月 深山発電所大規模改修事業着工
- 12月 栃木県企業局チャンネル(YouTube)開設



▲令和3(2021)年 小百川発電所営業運転開始

令和4(2022)年

- 3月 鬼怒水道事務所の水質課廃止
- 4月 芳賀第2工業団地の第2期予約分譲開始
- 8月 栃木県民ゴルフ場開場30周年記念式典
- 9月 鹿沼インター産業団地着工
- 10月 鹿沼インター産業団地の第1期予約分譲開始
- 12月 芳賀第2工業団地竣工
みぶ中泉産業団地の基礎調査に着手
大和田産業団地分譲完了
宇都宮ゆいの杜産業用地分譲完了



▲とちまるゴルフクラブ(県民ゴルフ場)開場30周年記念式典
(令和4(2022)年8月27日)

令和5(2023)年

- 2月 芳賀第2工業団地分譲完了
- 9月 みぶ中泉産業団地の事業実施決定
- 11月 とちぎふるさと電気完売
あしかが久保田産業団地の基礎調査に着手



▲とちぎふるさと電気完売イベント(令和5(2023)年11月)

令和6(2024)年

- 3月 鹿沼インター産業団地の第2期予約分譲開始
風見発電所運転再開
深山発電所運転停止
(大規模改修事業現地工事開始)
- 5月 北那須水道事務所(折戸調整池)のマイクロ
水力発電事業開始
- 12月 あしかが久保田産業団地の事業実施決定



▲風見発電所発電開始式(令和6(2024)年3月16日)



栃木県企業局経営戦略(2016～2025)

(令和3(2021)年3月改定)

経営環境の変化と課題

- ▶ 頻発・激甚化する自然災害時や新型コロナウイルス感染症の拡大下におけるライフライン等の維持
- ▶ 施設の老朽化による更新費用等の増加
- ▶ 人口減少などの社会経済の変化や利用者等のニーズへの的確な対応
- ▶ SDGs達成への貢献、地域貢献の拡充

企業局経営方針

安定的なサービス提供

- ハード・ソフト両面の強靱化、計画的・効率的な施設の修繕・更新
- ニーズを的確に捉えたサービス提供 など

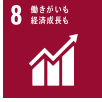
経営基盤の強化

- 経費削減、収益の確保(需要拡大、適切な料金設定)、中長期的な視点からの財政運営
- 人材の確保・育成や働き方改革の推進 など

地域や環境への貢献

- SDGs達成への貢献、事業実施を通じた地域経済の活性化
- 利益等を活用した地域貢献 など

《事業別経営戦略における経営方針》

事業名	主な取組の項目	SDGs達成への貢献
電気	● ハード・ソフト両面の強靱化 ● 収益の確保と経費削減による財務基盤の強化 ● 組織力の強化 ● 事業利益等を活用した地域貢献の拡充	   
水道	● ハード・ソフト両面の強靱化 ● 水質管理の向上 ● 組織力の強化 ● 経費削減や適切な料金設定等による財務基盤の強化 ● 長期的展望からの経営改革	   
工業用水道	● ハード・ソフト両面の強靱化 ● とちぎのものづくりを支える産業基盤の整備 ● 経費削減や需要拡大による財務基盤の強化 ● 組織力の強化	  
用地造成	● とちぎの産業躍進を支える立地環境の整備 ● 新たな日常に対応した企業誘致活動の実施 ● 利益確保による経営基盤の強化	   
県民ゴルフ場	● 多くの利用者に対する気軽で安全・安心なゴルフライフの提供 ● 計画的で効率的な設備投資 ● 利益確保による経営基盤の強化	 
賃貸ビル	● 安全で快適な施設環境の提供 ● 利益確保による経営基盤の強化	 

SDGsの達成に向けた取組

とちぎふるさと電気

- ▶ 水力発電所の CO₂ フリー電気をお届けする地産地消の電力メニュー「とちぎふるさと電気」を提供し、電気料金の一部を環境保全に役立てています。

地域振興積立金

- ▶ 電気事業の利益の一部を積み立てて、以下の事業を支援します。
 - 市町が実施する地域脱炭素化事業
 - 県が実施するSDGsの達成に資する事業等

『とちぎふるさと電気の活用事例』



奥日光地域に導入したEVバスと急速充電器

『市町が実施する地域脱炭素化事業への支援』

県営水力発電収入を活用した地域脱炭素化促進事業

～補助対象事業～

- 公共施設の再エネ設備等導入・省エネ化事業
- 公用車ZEV化・公用車用普通充電器設置事業
- 公共用充電器設置事業
- 個人向け補助事業（県事業と重複しないもの）
- 普及啓発事業 等

応急給水活動

- ▶ 災害時には給水車を出勤させて、給水活動を行っています。

森林保全活動の実施

- ▶ 産業団地造成に伴い里山林として整備した「とうぶの森とちぎ中央」の森林保全活動を、東武鉄道・壬生町と協働で実施しています。



『給水活動の様子』

（令和6年能登半島地震）

『防災訓練の様子』



『とうぶの森とちぎ中央の森林保全活動』



地元小学生が参加した里山体験学習会の様子

YouTube 見てほしいまる

栃木県企業局
チャンネル

栃木県企業局チャンネル 🔍



栃 木 県 企 業 局

令和 7(2025)年 4 月発行
〒320-0031 宇都宮市戸祭元町1-25
☎028-623-3824 FAX 028-623-3826
HP <https://www.pref.tochigi.lg.jp/j01/kigyokyoku/index.html>

表紙写真

上段 左：鬼怒水道事務所
右：みふ中泉産業団地（整備中）
下段 左：とちまるゴルフクラブ（栃木県民ゴルフ場）
中央：風見発電所
右：栃木県本町合同ビル

